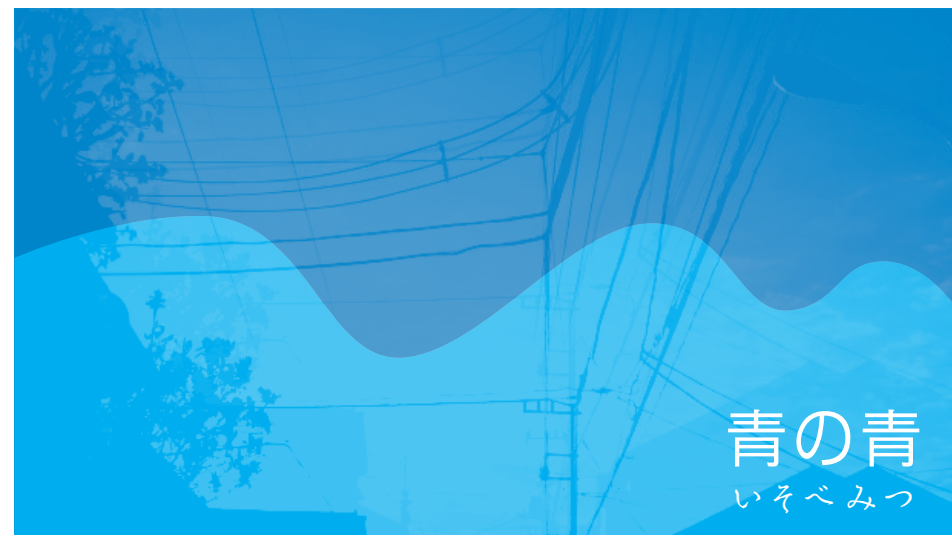




青の青
いそべみつ

清冽な水吸う蝶はトウーシューズ

君がため生毛の光る蓬摘む

見開いて椿は月と交信す

水仙の気魄の弛む日和なり

知恵袋あらば膨らめ山笑う

君も君もさつと乗れるよ春の雲

雛飾る一人芝居の幕上がる

十二単一日一夜と朧たける

清明のこの朝粗大ゴミを出す

読みごたえなき本のごと今夏果つ

空切って飛び込み青き魚となる

活きるため夏うぐいすを浴びに来し

願わくば光源氏の落し文

大山蓮華クレオパトラの香を放つ

バス待ちの人それぞれの遠花火

琴線と茶杓の黴をぬぐわんや

腹切りの櫓見学暑氣払い

麗人の繰りごとに似て鉦叩

雑巾の絞られしまま麦の秋

愛と憎十五個重ね月を待つ

大花野背鰭尾鰭となる手足

鮫鰭の形見となれる顎ひとつ

クリスマスケーキ鏡の前で灯す

捨てるという美学を拒み年跨ぐ

神々の口角の泡雪しまく

雪嶺やさくさくと積む母の骨

着膨れて心の細るうとましさ

逝くならばサンタの橇へ乗って行け

佐助稲荷淑気は赤と覚えたり

ふたつほど鬼門増やして鬼は外

 **Tokyo Mnemosyne** 東京ムネモシュネ

Tokyo Mnemosyne **e-books**

<http://haikustock.com>

A4用紙に印刷して2つ折りにします。右端をホッチキス留めするとA5判の小句集に仕上がります。
個人で楽しむ範囲でのダウンロード、印刷以外の無断転載・コピー・流用は一切禁止します。